

飲み込みについて



こんな症状
ありませんか？

- 食事中によくむせる
- 食事中でなくても突然むせる、咳き込む
- 食べ物や薬が喉に引っかかる

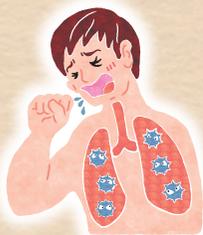
嚥下障害について

神経難病の一部では、喉や舌の力が弱ることで飲み込みに影響が出ることがあります。舌の力が弱くなると、食べ物を喉の奥に送り込むことが難しくなり、食事に時間がかかったり、食べられる食事の形態に制限がでてきたりします。また喉の力が弱ると、食べ物が喉につかえたり、気管に入ってむせたりすることがあります。これらの症状が進むと、食事をとることが難しい、もしくは口からの食事だけでは栄養が不足し、体力の低下や病気の進行に関わります。そのため、口以外から栄養をとる方法を検討する必要があります。

嚥下障害による合併症

● 誤嚥性肺炎

食べ物や飲み物、唾液などが気管や肺に入って炎症を起こす病気です。食事中のむせや汚い痰、咳などで気づかれます。時には、何度も繰り返したり、命に関わるほど悪化したりすることがあります。



● 体重減少

食事が減ることや、病気の影響で体に必要なエネルギー量が増えることで起こります。体重減少は筋肉量の低下や転倒のリスクとなります。またALS患者においては、発症前や後に体重減少幅が大きいほど疾患の進行が速かったという報告があります。



呼吸について



呼吸障害について

神経難病の一部では、呼吸に関わる筋肉の力が弱ったり、呼吸に関わる神経の機能が低下したりすることで、呼吸に影響が出ることがあります。当初から息苦しさが出ることは少なく、気づかれない間にゆっくりと症状は進みます。症状が進むと、息苦しさにより生活へ影響が出るほか、どれだけの期間生きられるかにも影響を及ぼすため、下に示すような症状を早期に発見して、対応を検討する必要があります。

それって呼吸障害かも

こんな症状ありませんか？

- 会話や軽い作業で息苦しくなる
- 日中眠たい
- 声が小さくかすれる
- 朝から頭痛がする
- うまく咳ができない
- いびきの音が高い
- 頭を上げないと眠れない
- 寝ている時の呼吸リズムがおかしい・止まっている

